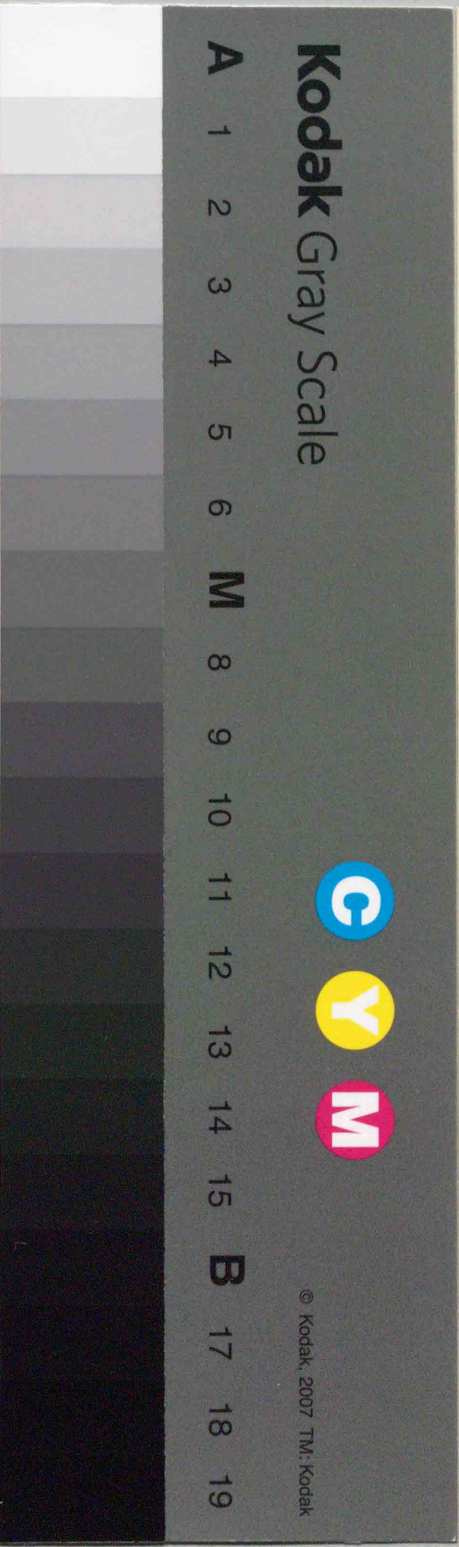
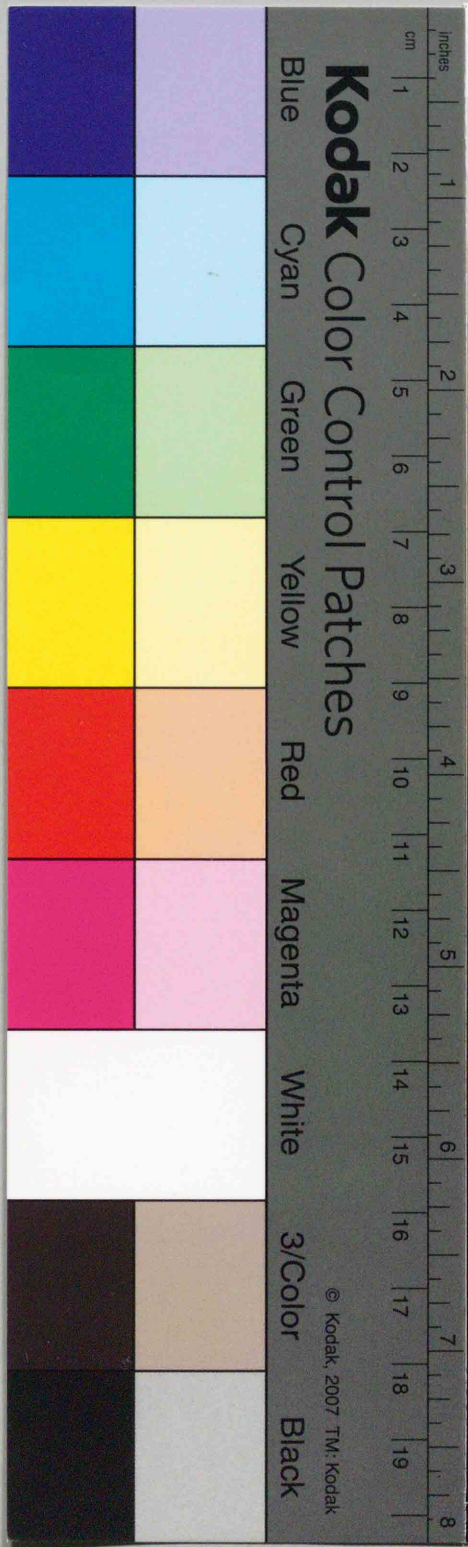
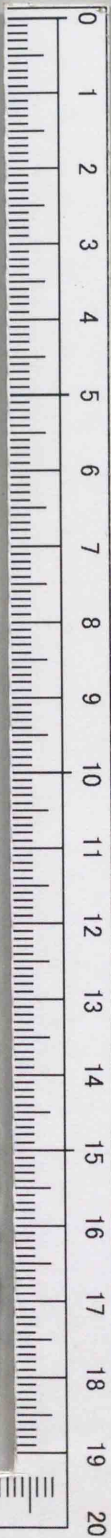


教科書文庫
4
290
31-1910
2000301545

尋常小學地理 卷二
兒童用
文部省



42746

教科書文庫

4
290
31-1910
200030
1545



教科書文庫
4
290
31-1910
2000301545



尋常小學地理 卷二

兒童用

文部省

広島大学図書
2000301545

資料室

375.9
M014

(石川村字原田)
(尋常科第六學年)
(松田マツ)



尋常小學地理

卷二 兒童用

第一 四國地方 一

位置

四國地方は四國島と其の附近の小島とより成り、北は瀬戸内海を隔てて中國地方に對し、東は紀伊半島に向ひ、南は太平洋に面し、西は九州島と相望む。

地勢

四國島には東西に走る四國山脈あり、脈中に劔山つるぎさん・石鎚いしづち山の高峯聳ゆ。川は概ね此の山脈に發して、東北・南の三方に流れ、吉野川最も大なり。全島山多く、平野は唯諸川の下流と海岸とに之を見るのみ。海岸は出入少からず、南方の土佐灣とさ最も著る。

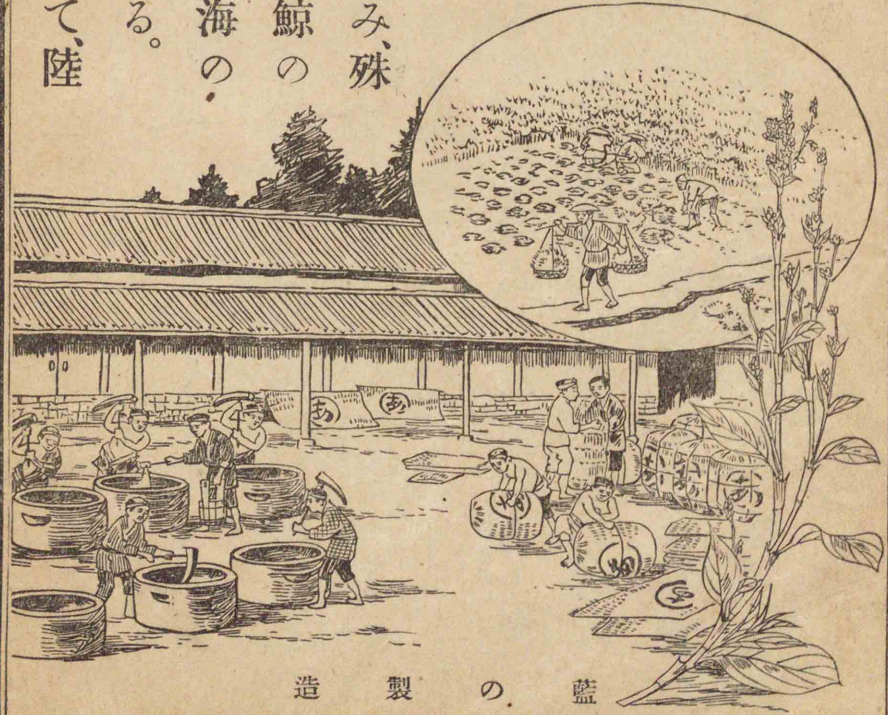
目錄

第一	四國地方	一	三
第二	四國地方	二	三
第三	德島縣	三	三
第四	九州地方	二	六
第五	廣島縣	十一	十
第六	大分縣	十五	十八
第七	北海地方	二	二十一
第八	北海道地方	二	二十二
第九	樺太地方	二	二十七
第十	朝鮮地方	一	二十九
第十一	朝鮮地方	一	三十三
第十二	關東州附滿洲	一	三十七
第十三	世界	二	四十
第十四	世界	二	四十四
第十五	世界	三	四十八
第十六	世界	三	五十三
第十七	帝國地理概說	四	五十八



産業

吉野川の下流に沿へる平野には藍の栽培盛にして、東北部には麥稈眞田の製造大に行はれ、中部以西には多く紙を産す。近海は到る所水産物に富み、殊に土佐灣の南方は鯉・鯨の漁獵盛にして、瀬戸内海、海濱には製鹽業行はる。鐵道未だ普からずして、陸

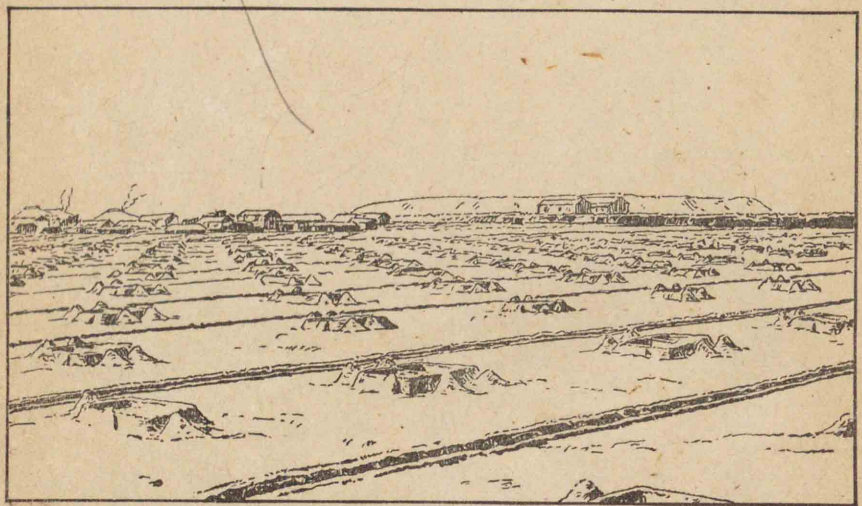


藍の製

交通

行政上の區分

徳島縣 (阿波全部)



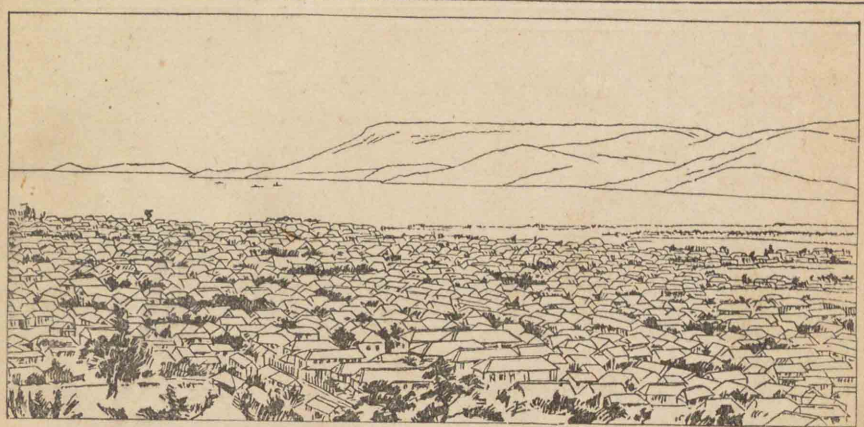
坂の出の鹽田

上の交通は便ならざれども、瀬戸内海の沿岸には港津多く、海上の交通頗る盛なり。四國地方は行政上之を四縣に分つ。徳島・香川の二縣は相接して東部を占め、愛媛・高知の二縣は相背きて其の西に連る。

第二 四國地方 二

徳島縣は吉野川流域の大部

香川縣
(讃岐全部)



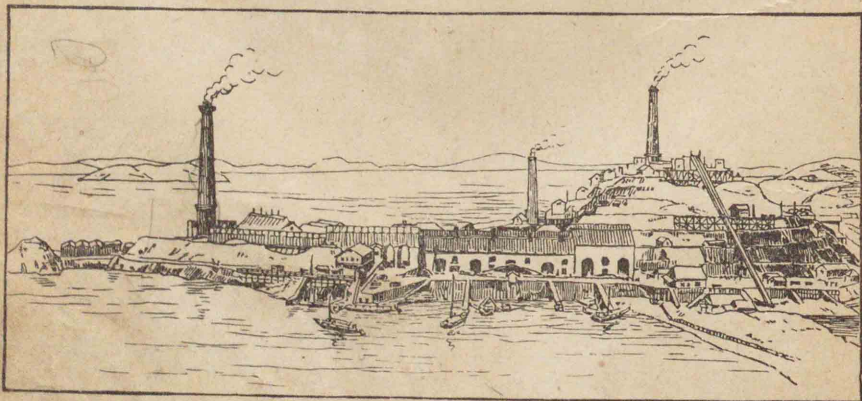
高松と屋島

分及び其の以南の地を占む。吉野川の河口に近く徳島あり、縣廳の所在地にして、大阪との間に汽船の往來頻繁なり。其の東北の撫養は鹽の產地として著れ、附近の鳴門海峡は瀬戸内海の口に當りて、潮流甚だ急なり。香川縣は徳島縣の北に接して、瀬戸内海に面す。北岸に高松・丸龜あり。高松は縣廳の所在地にして、瀬戸内海の要津に當り、東に屋島を

愛媛縣
(伊豫全部)

望み、南に栗林公園を控ふ。丸龜の東北なる坂出は製鹽業甚だ盛に、南方なる琴平は金刀比羅宮を以て著る。琴平の附近に第十一師團司令部あり。

愛媛縣は香川縣の西南に連りて、瀬戸内海に面し、西端佐田岬と九州島との間に豊豫海峡を挟む。縣の中部に松山あり、縣廳の所在地にして、伊豫絋を産す。近傍に道後温泉あり。東部の山中に別子銅山



別子銅山附屬製煉所

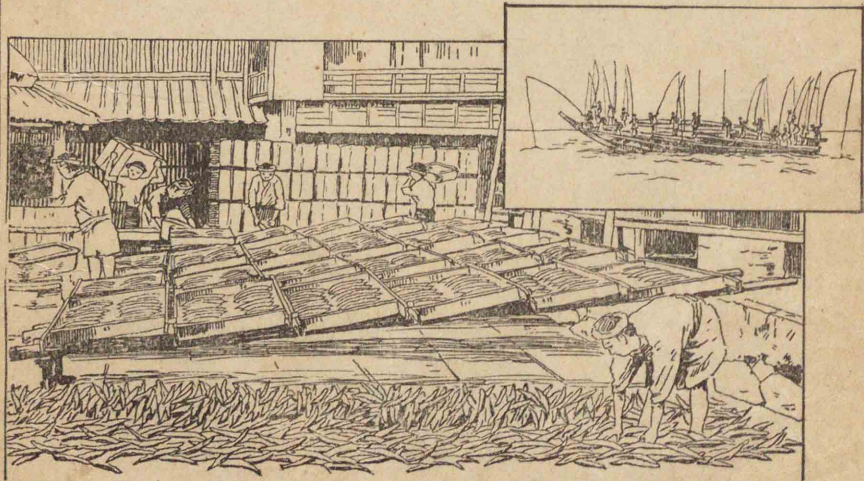
高知縣
(土佐全部)

あり、多く銅を産す。
高知縣は愛媛縣に背きて、其の東南に横たはる。縣の中部に縣廳の所在地高知あり。縣下一般に製紙業行はれ、海岸には鯉節の製造盛なり。又西南の海中には珊瑚を産す。

第三 九州地方 一

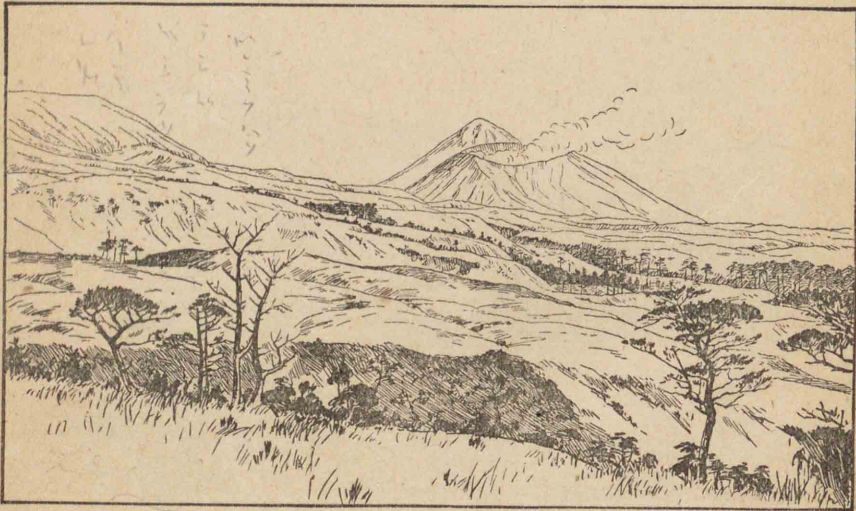
九州地方は本州四國の西南にある九州島と其の屬島及

位置



鯉節の製造

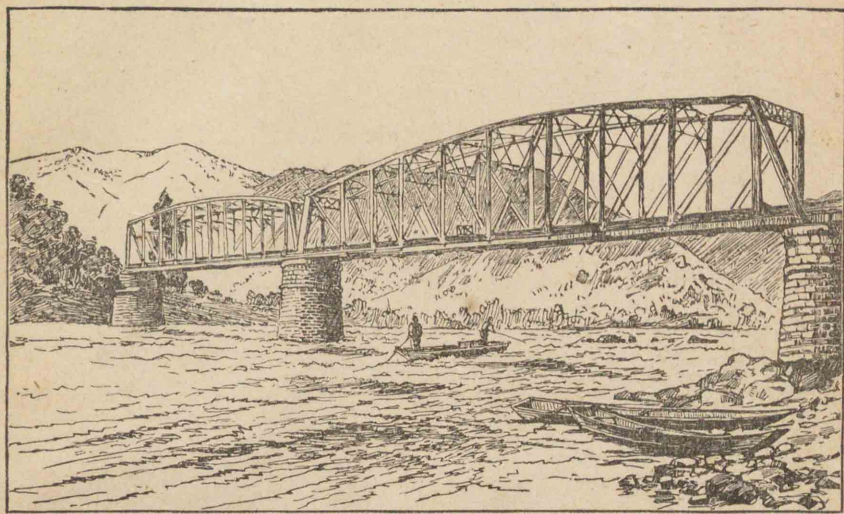
地勢 一



地勢 二

び琉球列島とより成る。
九州島には東北より西南に走る九州山脈あり、脈中に高峯少からず。此の山脈の北に阿蘇山、南に霧島山あり。
川は概ね是等の山中に發し、西或は東に流れて海に入る。筑後川、球磨川、大淀川等を其の著しきものとす。筑後川の下流地方には肥沃なる平野あり。

地勢三



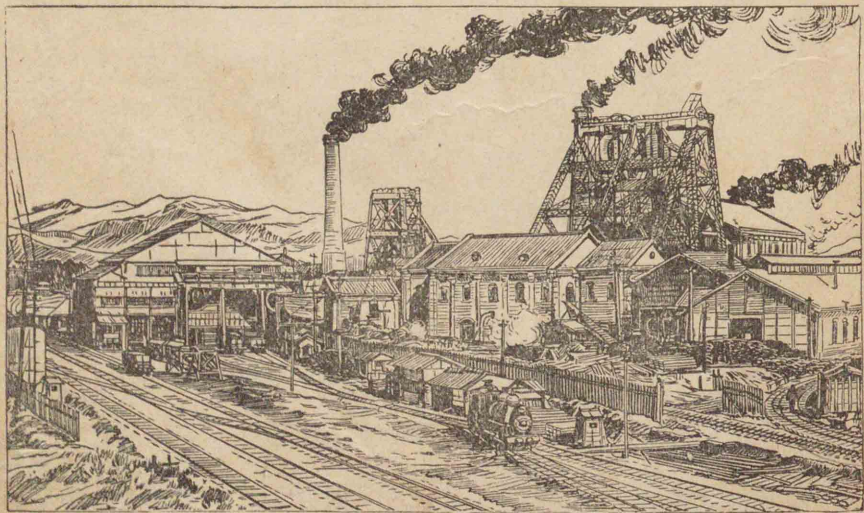
球磨川の急流

九州島は海岸の出入多く、又島嶼に富めり。西部には島原半島突出し、天草島と相對して、有明の海の口を扼し、南部には薩摩大隅の二半島ありて、其の間に鹿兒島灣を抱く。南方琉球列島に至る間には數多の島嶼散布し、西北朝鮮との間には壹岐對馬あり。平野には多く米を産し、西部より南部にかけては甘藷の

産業

交通

栽培大に行はれ、中部以南には馬の飼養頗る盛なり。北部地方には遠賀川流域を初として、石炭を産する所甚だ多く、其の産額我が國總産額の過半を占め、南部には金の産地少からず。近海は水産物に富み、西部及び南部の海岸より多く鱧節、鰯等を出す。鐵道は九州島の北端なる門司に起りて鹿兒島灣の岸に



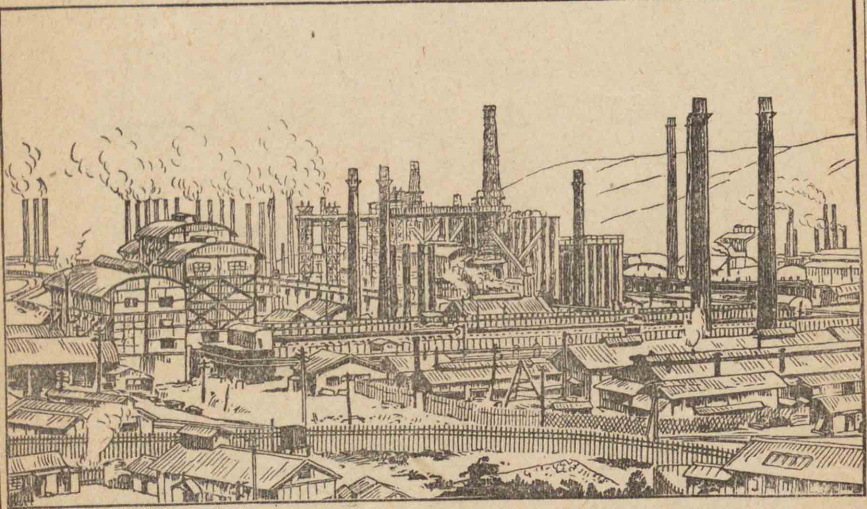
三池炭坑

行政上の區分

達するを幹線とし、長崎線を初め、多くの支線あり。海上の交通は北部の沿岸に最も盛にして、石炭の輸出を以て名高き港少からず。九州地方は行政上之を八縣に分つ。福岡縣は北部の中央に位し、大分縣は其の東南に、佐賀縣は其の西南にあり。長崎縣は佐賀縣の西に接して、多くの島島をも含み、熊本・宮崎の二縣は相背きて中部に位す。鹿兒島縣は大隅・薩摩の二半島と其の南に散布する諸島とを合せ、沖縄縣は琉球列島を占む。

第四 九州地方 二

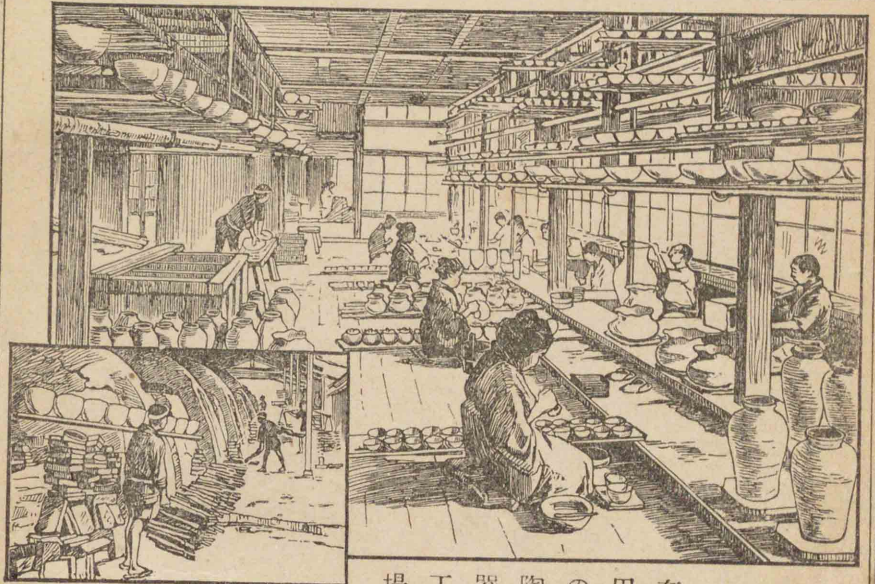
福岡縣
(筑前全部、筑後全部、豊前一部)



八幡の製鐵所

福岡縣は日本海・瀬戸内海及び有明海に面し、所所に平野あり。日本海方面なる福岡は縣廳の所在地にして、福岡醫科大學亦此の所にあり、博多織を名産とす。下關海峡に臨める門司は交通上九州の咽喉に當り、石炭の輸出を以て名高し。其の西南の小倉には第十二師團司令部、八幡には官設製鐵所あり。福岡の東南

佐賀縣
(肥前一部)

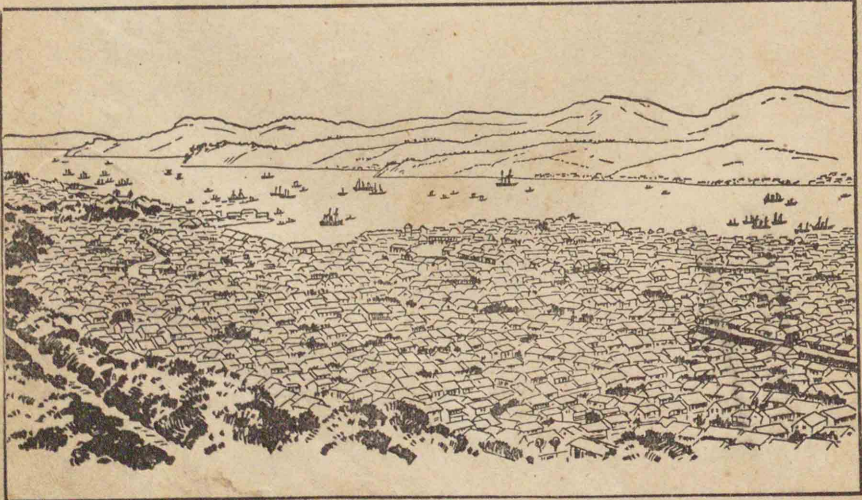


有田の陶器工場

には菅原道眞を祀れる太宰府神社あり。筑後川の下流に臨める久留米は久留米耕に名高く、又第十八師團司令部の所在地たり。久留米の南方に三池炭坑あり、多く石炭を産し、三池港より之を輸出す。佐賀縣は福岡縣の西に連りて、日本海と有明海とに臨む。有明海に沿へる平野

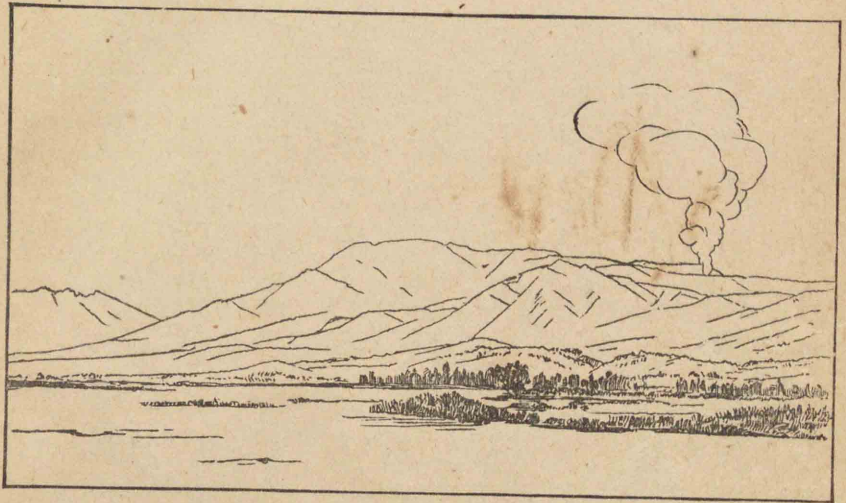
長崎縣
(肥前一部、壹岐全部、對馬全部)

に縣廳の所在地佐賀あり。西部の有田は多く陶器を産す。長崎縣は佐賀縣の西に連りて、壹岐、對馬等の島嶼をも合せ、海岸の出入甚だ多し。縣廳の所在地長崎は縣の西南部に位し、人口凡そ十八萬、有名なる開港場にして、水産物の輸出多く、大いなる造船所あり。其の北方に佐世保軍港あり。對馬は朝鮮海峽を隔てて



長崎港

熊本縣
(肥後全部)

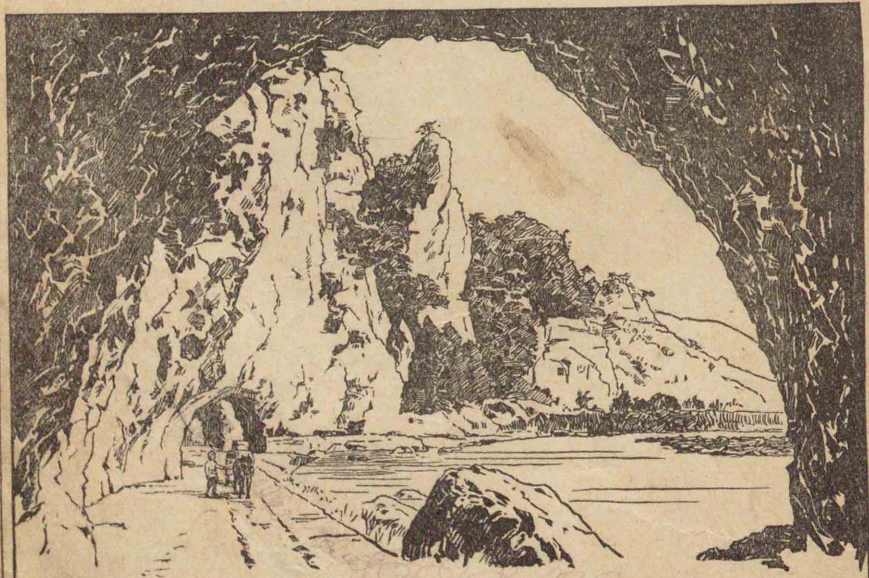


阿蘇山

朝鮮と相望み、其の竹敷は海軍の要港たり。熊本縣は有明海を隔てて長崎縣と相對す。東部より南部に互りては山岳重疊し、有名なる阿蘇山其の中に聳ゆ。阿蘇山の西なる平野に縣廳の所在地熊本あり、名高き熊本城のある所にして、城内に第六師團司令部を置く。西南なる天草島は無焰炭を産す。

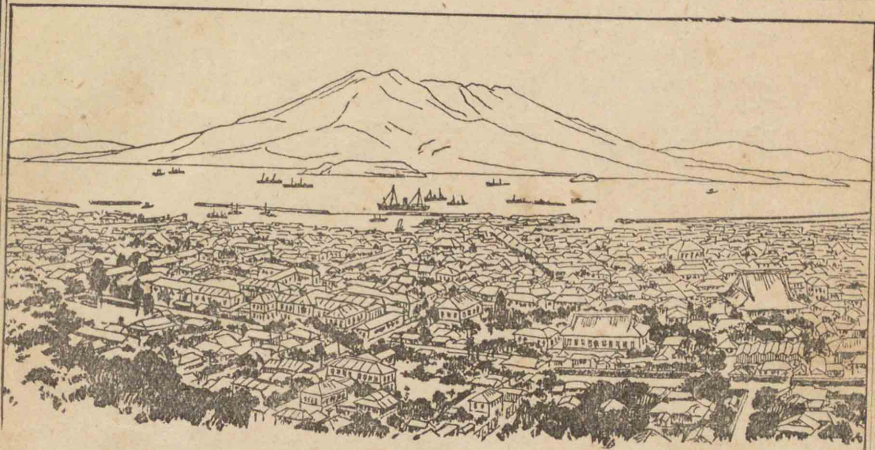
大分縣
(豊前一部、豊後全部)

大分縣は熊本縣の東北に接して、瀬戸内海に面し、國東半島東北に突出し、其の南に別府灣あり。灣に臨める大分は縣廳の所在地にして、附近に別府溫泉あり。國東半島には多く疊表を産す。北部の宇佐は八幡宮を以て名高く、西北境の山國川は耶馬溪の奇景を以



耶馬溪

宮崎縣
(日向全部)

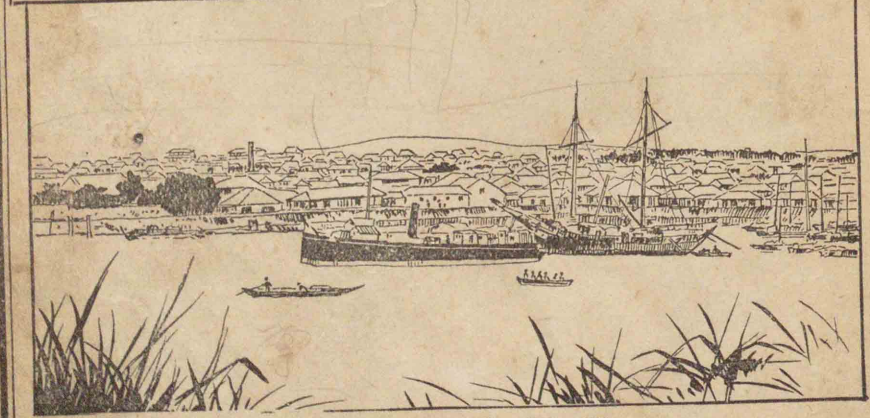
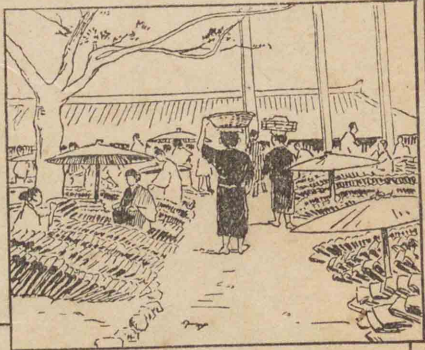


鹿兒島縣
(大隅全部、薩摩全部)

て著る。
宮崎縣は大分縣の南に連り、東は太平洋に面す。海岸出入に乏しく、内地には山岳重疊し、未墾の原野少からず。大淀川の口に近く縣廳の所在地宮崎あり。鹿兒島縣は九州南部の二半島と數多の島嶼とより成る。縣廳の所在地鹿兒島は鹿兒島灣に臨み、薩摩・緋・薩摩燒を産す。灣の北岸なる國分は煙草の産地と

沖繩縣
(琉球全部)

して知られ、南方の大島は紬つむぎ及び黒砂糖の産を以て著る。沖繩縣は五十有餘の島嶼より成り、沖繩島最も大なり。氣候甚だ暖にして、甘藷・甘蔗等の栽培盛なり。又一般に豚を飼



那覇港と市場

養す。縣廳の所在地那覇なはは沖繩島の西南部にある要津にして、琉球絣を名産とす。

第五 臺灣地方 一

位置

臺灣は我が國の西南端にあり。西は臺灣海峽を隔てて清國シンコウに對し、東は太平洋に臨む。

地勢 一

本島は地勢南北に長く、之を縦貫せる山脈ありて殆ど其の東半部を占む。脈中の新高山にいたかは高さ一萬三千餘尺、我が國第一の高山なり。山脈の西側に沿うて廣き平野あり、數多の河流之を横斷わらだんし、北部の淡水河たんすい最も著る。海岸は屈曲に乏しく、西岸は遠淺にして、東岸は概ね絶ぜつ

地勢 二

氣候

産業



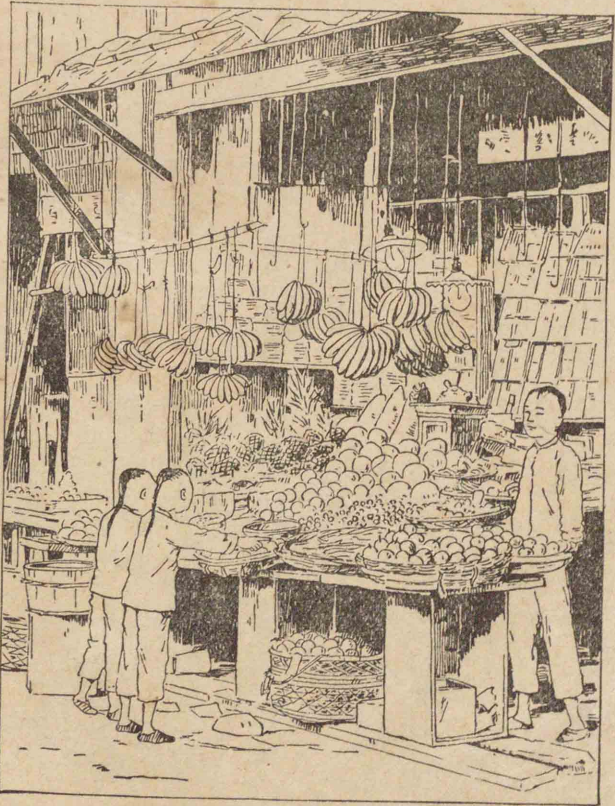
壁べきをなせり。屬島まれば稀にして、其の著しきものは臺灣海峽にある澎湖諸島のみ。

氣候甚だ暖にして、雨量多く、平野には榕樹、竹類、芭蕉等よく茂り、山地には樟の巨大なるものあり。

水の産業は農を主とし、米、甘蔗、茶、甘藷等の産多く、殊に米は其の收穫年二回に及ぶ。製茶は北部に、製糖は南部に盛にして、製鹽は西部の海濱に、樟腦

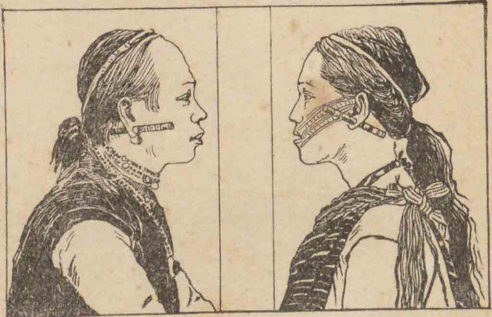
交通

の製造は廣く山地に行はれ、就中茶と樟腦とは多く海外に輸出せらる。又家畜には豚、水牛等あり。鐵道は西部を縦貫し、汽船は本島と内地及び清國との間を往來し、近時は交通頗る便利となれり。されど沿岸に良港稀なるが故に、海陸の聯絡は未だ不便を免れず。



果物店

住民

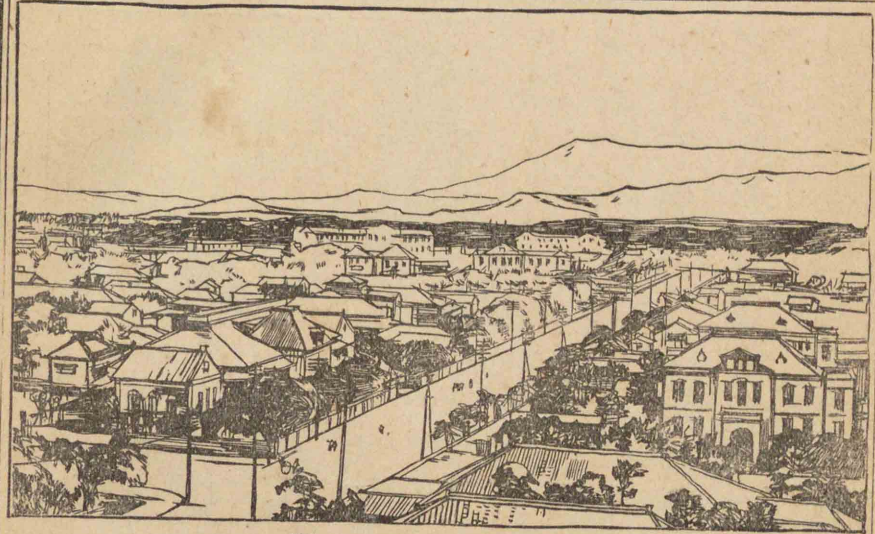


人口凡そ三百萬あり、概ね支那より移住せしものの子孫にして、重に平野に住し、農商の業を營む。此の外、古來數種の蕃人あり、概ね東部の山地に住し、今尙未開のままにて、殺伐を好むもの少からず。近來内地人の移住するもの次第に増加し、其の數殆ど八萬に達せり。

都邑

第六 臺灣地方 二

臺北は臺灣總督府の所在地にして、淡水河に臨み、人口凡そ九萬、製茶業盛なり。其の東北なる基隆は汽船の出



臺北市街

入繁く、米を内地に出し、茶、樟腦を海外に輸出すること多し。近傍所所に金を産し、就中金瓜石は我が國屈指の産金地たり。南部の臺南は本島第二の都會にして、打狗は砂糖米等を内地に出す要津たり。澎湖諸島の馬公は海軍の要港なり。

第七 北海道地方 一

位置

地勢一

北海道地方は北海道本島と、其の東北に連れる千島列島とより成り、南は津軽海峡を隔てて本州に對し、北は宗谷海峡を挟みて樺太と相望む。

地勢二

北海道本島の中央部は地勢高峻にして、山岳多く、本島の重なる分水嶺をなし、中に旭岳等の火山あり。又西南部にもマツカリ岳、駒岳等の火山少からず。

地勢三

川は概ね中央部の高地に發して、四方の海に注ぐ。石狩川、天鹽川、十勝川は其の著しきものにして、流域に各平野あり。石狩川は我が國屈指の長流にして、流域の石狩平野は本島中最もよく開拓せられたる地方なり。海岸は一般に出入に乏しけれども、西南部は半島状を

氣候

住民

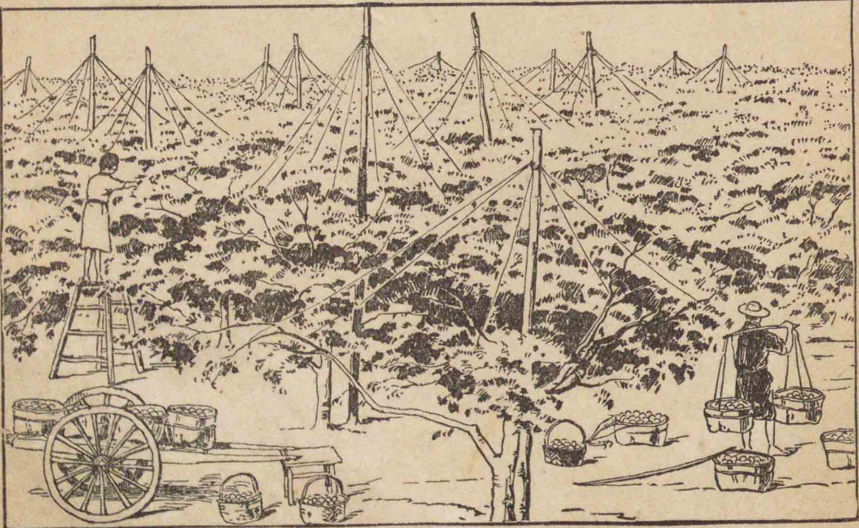


石狩川流域の森林

なして、東に内浦灣を抱く。寒氣一般に強く、殊に石狩川上流の上川平野は寒地として知らる。されど本島降雪の量は本州北部の日本海岸地方より少し。北海道地方は古來アイヌ人の住する所にして、戸口も稀少なりしが、維新後大いに意を開拓に用ひたるを以て、内地より移住するもの次第に

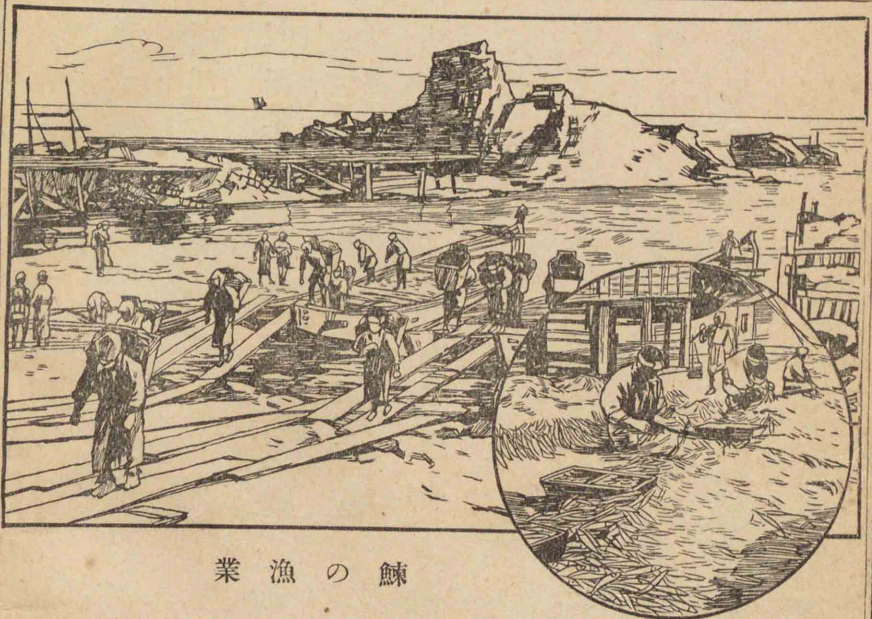
産業

多く、今や人口百四十餘萬に及べり。其中、アイヌ人は僅に二萬に満たず。水産業甚だ盛にして、鯨を初め、鮭、鱈、昆布等を産すること多く、農牧の業も近年漸く盛になり、豆類、馬鈴薯、林檎等の栽培及び馬の飼養大に行はる。林産物の重なるものは蝦夷松、榎松等にして、鑛産物は石炭を主とし、硫黄の産亦



林 檎 畑

交通



業漁の鯨

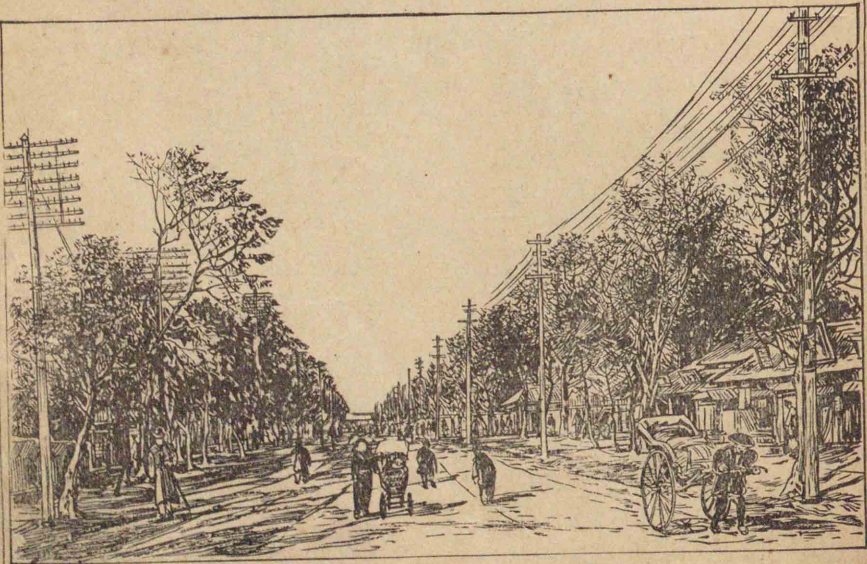
少からず。鐵道は津輕海峽に臨める函館はこだてに起り、石狩平野を経て上川平野に至るものを幹線とし、支線には石狩平野の中部より分れて内浦灣の岸に達するもの、上川平野より東南の海岸に達するもの等あり。海上の交通亦頗る頻繁なれども、季節によりては濃霧・流水等

都邑

の爲に屢、航海を妨げらる。

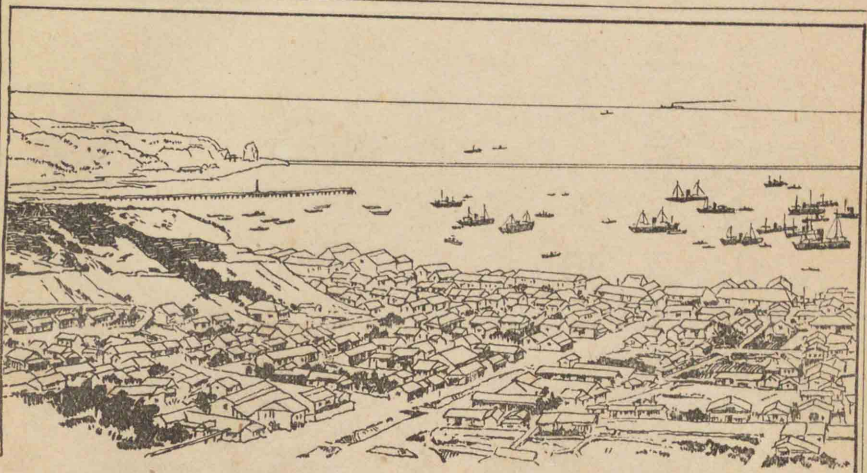
第八 北海道地方 二

石狩平野の西部に札幌さっぽろあり、北海道廳及び農科大學の所在地にして、麻布あし・ビール等を産す。其の西方に小樽おたるあり、人口凡そ九萬、商業盛に行はれ、木材を輸出すること多し。函館は有名な開港場にして、多く水産



街市幌札

千島列島



小 岐點にして、第七師團司令部の
樽 所在地なり。

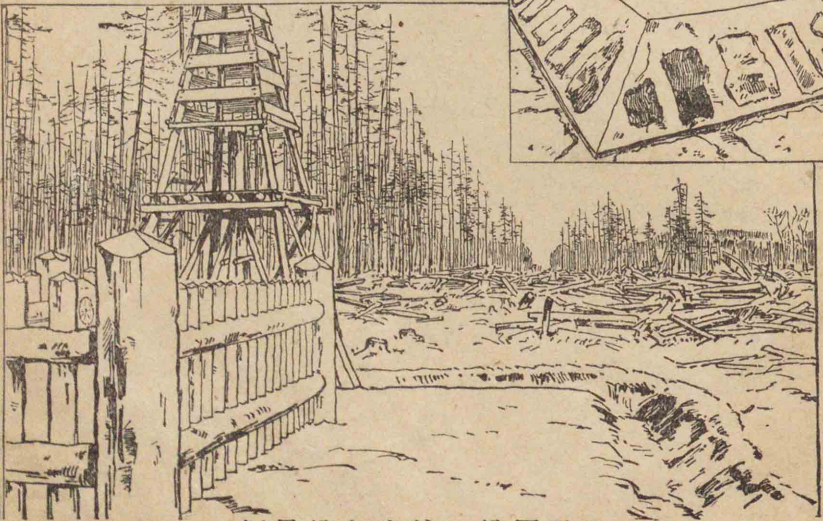
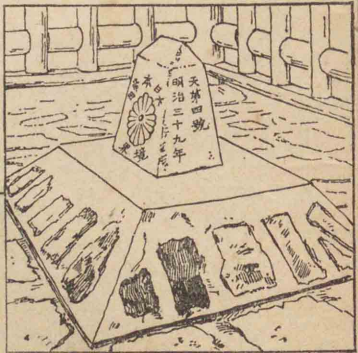
港 千島列島は三十有餘の島嶼よ
り成り、概ね火山を戴く。擇捉島
最も大なり。東北端の占守島は
狭き千島海峡を隔てて露領カ
ムチヤッカ半島に對す。近海には

臘ろう肺はい獸せう臘ろう虎こ等の海
獸多し。

第九 樺太地方

樺太島は北海道本

島の北に位し、地形南北に長
く、東はオホーツク海に面し、
西は間宮海峡を隔てて亞細
亞大陸に對す。其の北半は露
西亞に、南半は我が國に屬す。
邦領の西部には之を縦貫せ



日露國境の空林と境界標

地勢

位置

氣候



樺太人士と鱈の漁業

る山脈あり、東部にある山脈との間に平野を挟む。南端は二半島に分れ、其の間に亞庭灣あり。東北部にも亦一半島突出す。其の西に多來加灣あり、幌内川之に注ぐ。

此の地方は北方に偏せるを以て、冬季長く、寒氣甚だ強し。然れども降雪の量は殆ど北海道地方と異なら

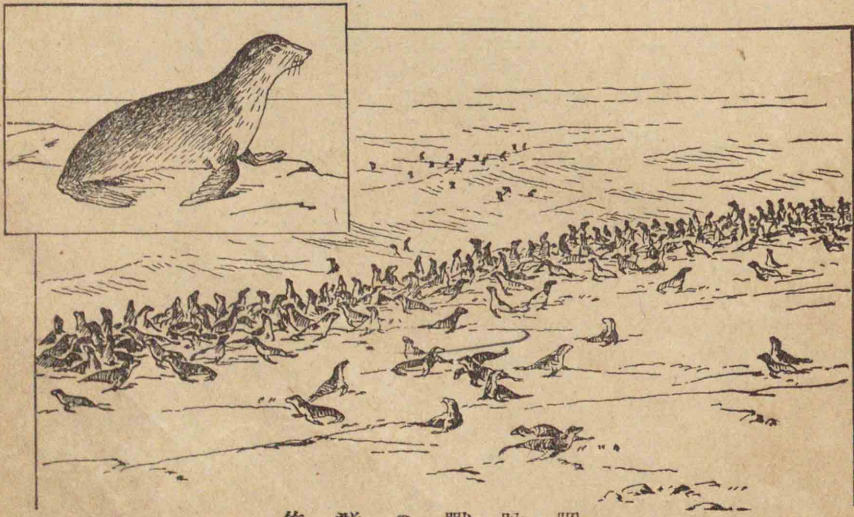
産業

交通

ず。

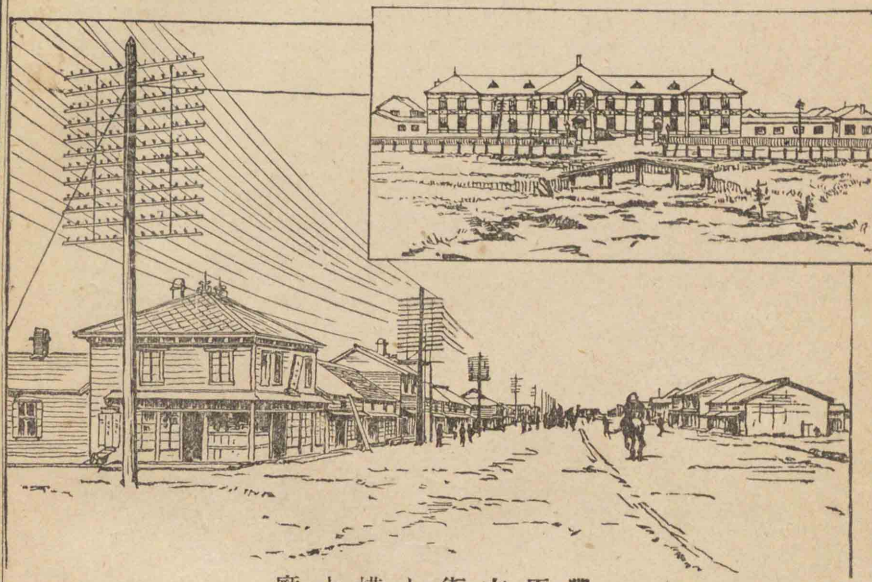
近海は鯨、鱈、鱒、鮭、昆布等の水産物に富み、又臙肭獸、海豹等を産す。漁期には内地より出漁するもの少からず。山林は其の面積頗る廣くして、蝦夷松、椴松、落葉松等多く、鑛産物は石炭を主とす。平地は概ね肥沃なれども、農業は未だ盛ならず。

道路の改修漸く行はれ、沿岸



臙肭獸の群集

住民



豊原市街と樺太廳

に定期航海あり。されど鐵道の敷設甚だ少く、近海は概ね冬季凍結して、海陸共に交通未だ便ならず。住民凡そ二萬五千あり。其の大部分は内地よりの移住者にして、尙次第に増加せんとする傾向あり。土人はアイヌ其の他二三の種族あれども、其の數極めて少し。

都邑

豊原は南部の平野にありて、樺太廳の所在地たり。其の南方の大泊は海陸交通の要路に當れども、冬季海水の凍結甚だしき間は船舶西岸の眞岡まをかに出入す。眞岡は鯨の漁獲を以て著る。

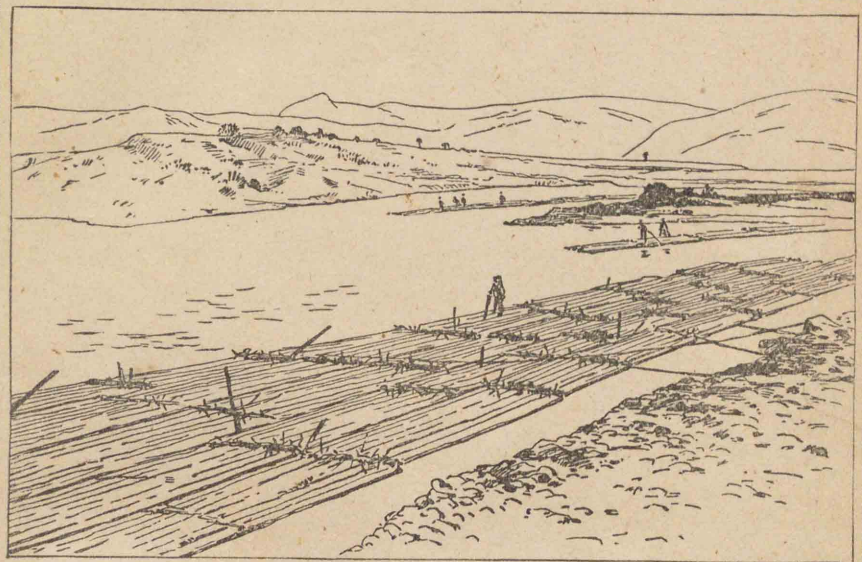
第十 朝鮮地方 一

位置・面積
人口

朝鮮は亞細亞大陸の一大半島にして、本州と共に日本海を擁し、東南は近く中國及び九州に對し、西は黃海に臨み、北は清國の滿洲に連り、東北は露西亞と境す。面積殆ど本州に等しく、人口凡そ一千三百萬あり。

地勢 一

地勢は南北兩部頗る其の趣を異にす。南部には大白山



鴨綠江の上流

脈東岸に沿ひて走り、日本海に向ひて急傾斜をなす。河流は多く其の西にありて、西又は南に流れ、河畔に沃野を開けり。中にも漢江、洛東江、殊に著し。北部は大同江の下流に平野開けたれども、地勢一般に高峻にして、山脈連互す。中にも滿洲との境上なる長白山脈最も著れ、脈中に白頭山聳

ゆ。鴨綠江、豆滿江の二大川源を此の山中に發し、一は西流し、一は東流して、朝鮮の北境を限る。其の上流には廣き森林あり。

東岸は屈曲少けれども、西岸と南岸とは出入多く、良港に乏しからず。島嶼亦此の方面に多く、中にも半島の南端に近き濟州島最も大なり。又西岸は潮汐干滿の差頗る著しく、往往三十尺以上に及ぶ所あり。

氣候は一般に寒暑共に甚だしけれども、南部の沿海地方は頗る溫和なり。雨量は夏秋の二季に多けれども、其の量概して少し。

産業は農業を主とし、米、麥、大豆、人參等を産すること多

地勢 二

氣候

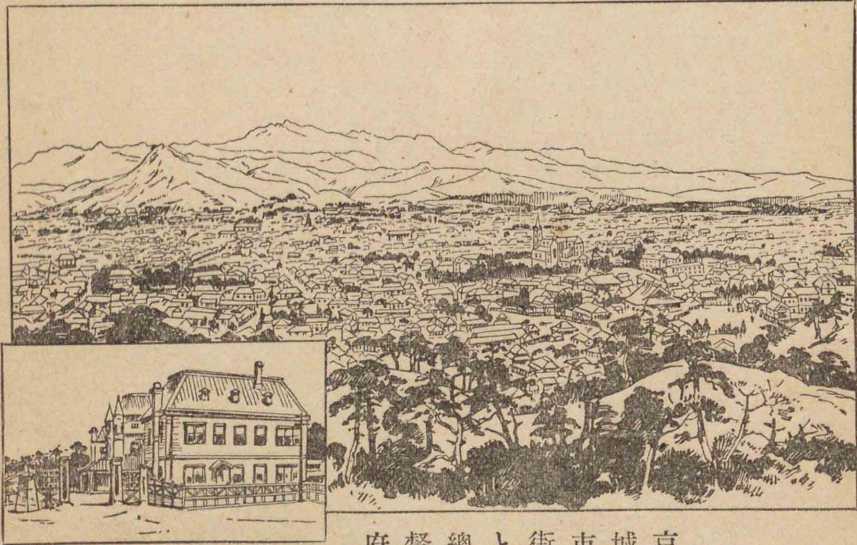
産業

く、牛の飼養廣く行はれて、牛皮を産す。金の産額亦多し。近海には水産物多く、日本海の明太魚、黄海の石首魚、南部近海の鯛殊に著る。商業は近時頗る發達して、内地へ金、大豆、米、牛皮等を移出し、内地より綿織物



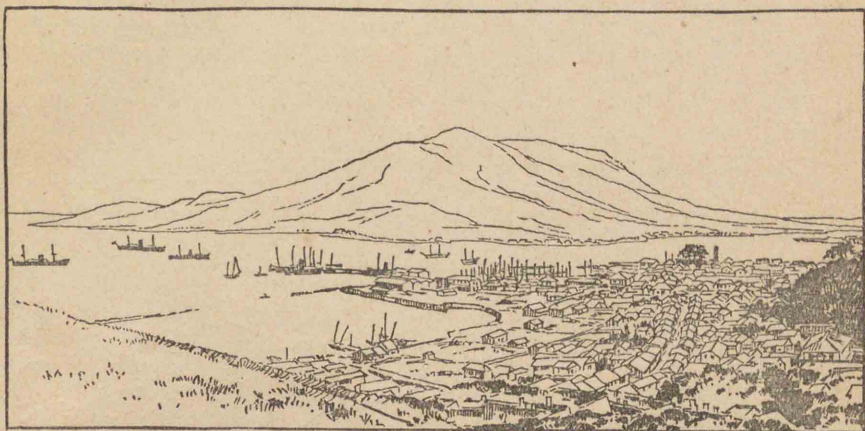
朝鮮人と商人

交通



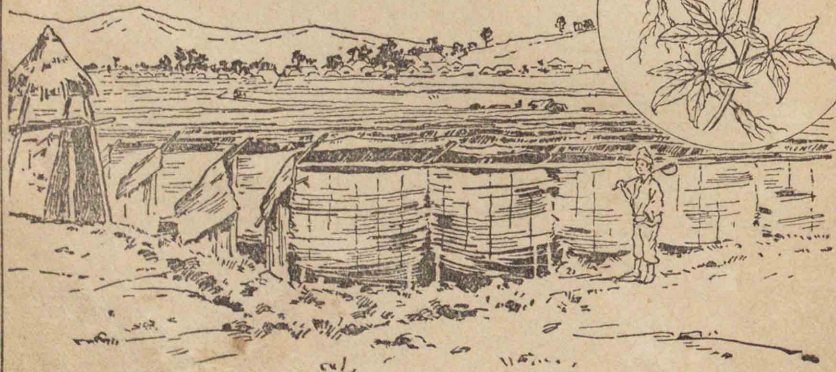
京城市街と總督府

綿絲等を移入す。又清國へ米、人參を輸出すること少からず。陸には京釜、京義の二鐵道ありて、半島を南北に貫き、沿岸には汽船の往來繁くして、從來不便を極めたりし交通は近時頗る其の面目を改めたり。



京城は半島の中央部にありて、漢江の北に位し、人口凡そ二十萬、朝鮮第一の都會にして、朝鮮總督府此の所にあり。其の西方なる仁川は京城の咽喉に當りて、黃海に臨み、此の地方第一の開港場たり。朝鮮海峽に臨みて釜山あり、亦有名なる開港場にして、内地との交通の門戸に當る。其の西方なる鎮海は軍港たり。京城の西北に開城あり、多く

人參を産す。大同江に臨みて平壤あり、北部第一の都會にして、日清戦役以來其の名殊に著る。又河口に近き鎮南浦は重要なる開港場なり。鴨綠江に臨みて新義州あり、京義鐵道の終點に當り、江を隔てて滿洲の安東と相對す。元山は東海岸に於ける開港場にして、附近の永興は海軍の要港なり。



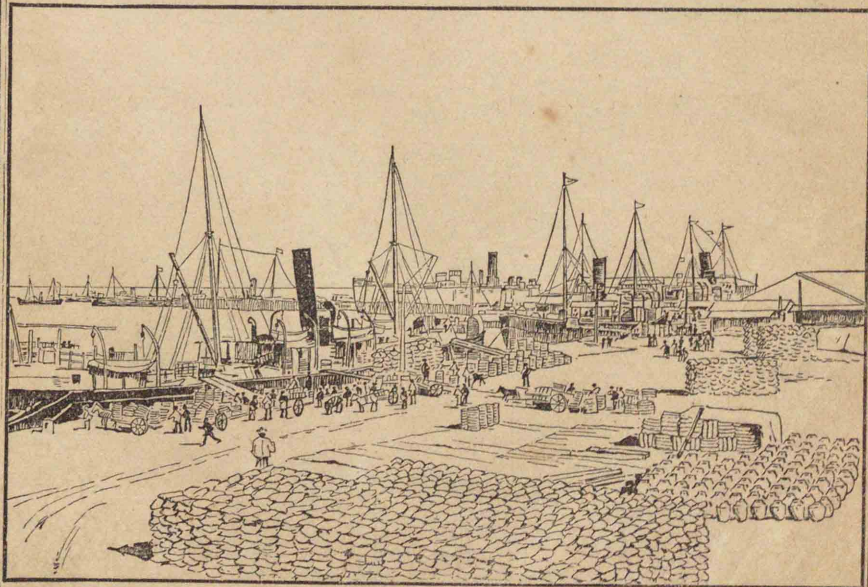
人參畑

關東州

第十二 關東州附

滿洲

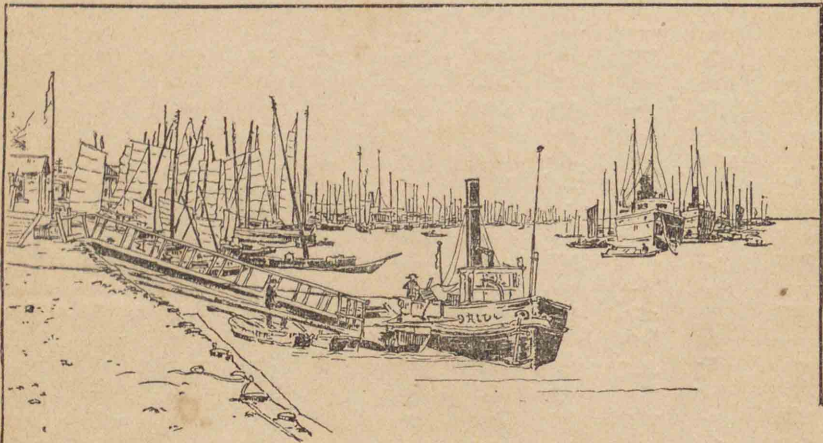
關東州は我が國の租借地にして、滿洲の最南部なる遼東半島の南端を占む。東南は黃海に、西北は渤海灣に臨みて、漁鹽の利に富めり。海岸は屈曲著しく、黃海に臨みて旅順、大連の二良港あり。旅順には關東



大連港

滿洲
位置
面積

地勢



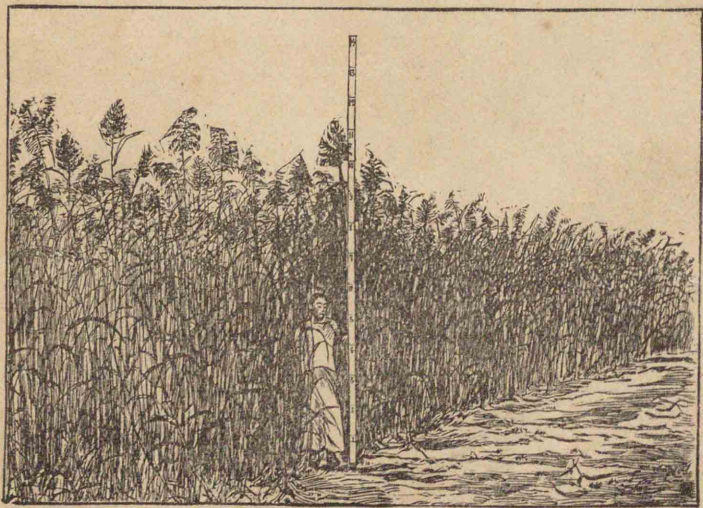
都督府あり。大連は南滿洲鐵道の起點にして、大豆、豆粕の輸出甚だ盛なり。
遼滿洲は清國の東北部にして、朝鮮地方の北に隣り、面積我が國の全部より稍大なり。
下滿洲の中部には廣濶なる平野あり、東、西北の三方は殆ど山を以て圍まれ、南は延びて渤海灣に達す。松花江は平野の北部を流れて、黑龍江に入り、遼河は南

氣候産業

部を流れて渤海灣に注ぐ。氣候は朝鮮に比して寒暑共に甚だし。農業廣く行はれて、高粱大豆等の産出多く、又豆粕豆油の製造盛なり。牧畜亦所所に行はる。

交通

近海には我が汽船の往來繁く、遼河松花江鴨綠江等亦水運の便多し。鐵道は日清露の三國に分屬し、我が南滿洲鐵道は關東州より來りて平野を北進し、露西亞の東清鐵道



高粱畑

住民

に接續す。その他我が安奉鐵道、清國の京奉鐵道あり。住民は約一千六百萬あり。我が國人の在留するもの近年多きを加へ、所所に日本風の市街を見るに至れり。平野の南部に奉天あり、政治・商業・交通の中心にして、滿洲第一の都會たり。其の東の撫順炭坑は我が國の經營する所なり。奉天の南に遼陽あり、亦滿洲屈指の都會とす。遼河の河口に近き營口は大豆豆粕の輸出を以て著る。松花江の流域に長春、哈爾賓あり、長春は日露鐵道の接續地にして、哈爾賓は東清鐵道の要驛なり。滿洲は清朝祖宗の興りし地にして、清國は奉天に總督を置き、之を統轄す。日露戰役前、露西亞は此の地に大

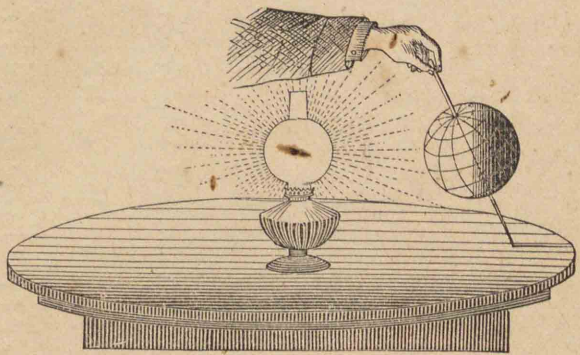
都邑

沿革

いに勢力を振ひたりしが、戦役の結果、我が國は關東州を租借し、長春以南の鐵道炭坑等を經營するの權利を得るに至れり。

第十三 世界 一

地球の形状
運動



解圖の夜晝

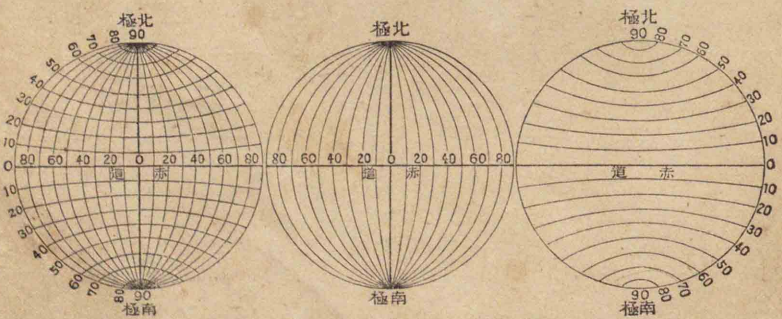
地球は球の如き形をなし、其の直径凡そ三千二百里あり。南北の直径を軸として西より東に向ひ、一日に一回轉をなしつつ一定の軌道を通りて、太陽の周りを一年に一周す。此の軸を地軸と云ひ、地軸の南端を南極、北端を北極と稱す。

兩極赤道
經緯線

經緯度

地球の表面に於て兩極より等しき距離の所に一箇の圓を設けて之を赤道と名づく。又之に並行して引ける横線を緯線と云ひ、赤道と直角に交りて兩極を結び付くる縦線を經線又は子午線と云ふ。

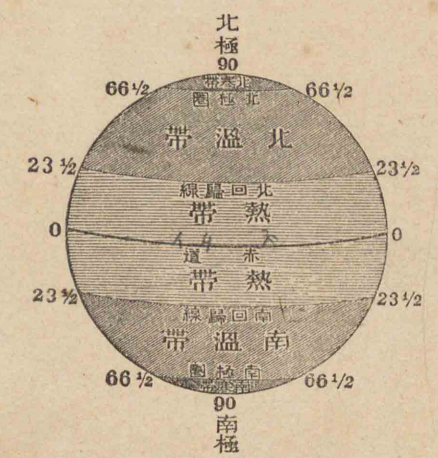
かくて赤道を零度とし、南及び北に向つて南緯何度、北緯何度と數へ、南北兩極の九十度に終る。又英吉利のグリニチ天文臺を通ずる子午線を零度とし、是より東西に東經何度、西經何度と數



解圖の線緯線經

三帶

へ、各百八十度に至る。此の經緯度によりて地球の表面に於ける地點の位置を明かに示すことを得べし。



三帶の圖解

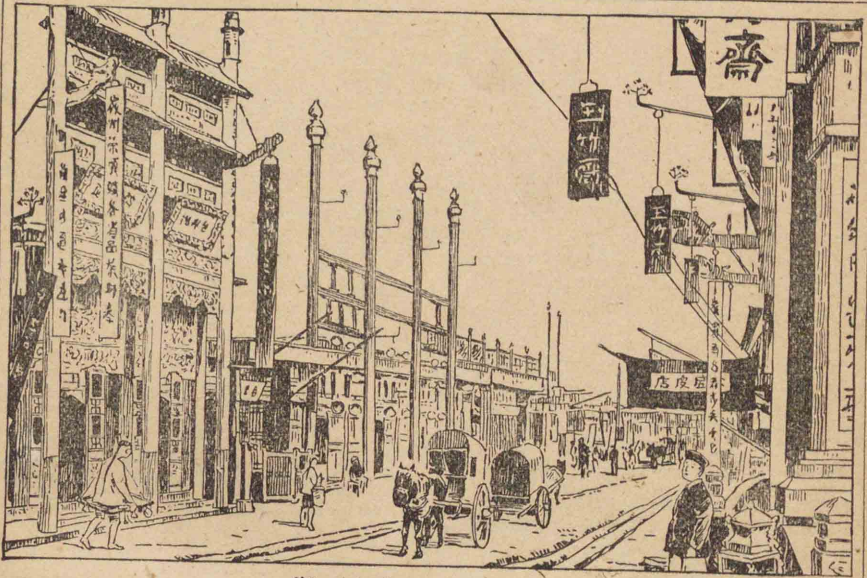
る國國は大抵此の内にあり。

地球の表面は海洋と陸地とに分る。海洋は其の面積陸地の約二倍半あり、大別して太平洋・大西洋・印度洋の三

地球の表面

大洋とす。陸地は之を大別して亞細亞洲・大洋洲・歐羅巴洲・亞弗利加洲・北亞米利加洲・南亞米利加洲の六大洲とす。地球を東西兩半球に分てば亞細亞洲・大洋洲・歐羅巴洲・亞弗利加洲の四大洲は東半球に入り、北亞米利加洲・南亞米利加洲の二大洲は西半球に入る。六大洲中、亞細亞は東半球の北部を占めて、面積最も廣大に、大洋洲はオーストラリヤ及び數多の島嶼より成りて、其の東南に位し、面積最も小なり。歐羅巴は亞細亞の西に續きて共に一大陸をなし、亞弗利加はスエズ地峽によりて東北僅に亞細亞に連り、北は地中海を隔てて歐羅巴に對し、北亞米利加と南亞米利加とはパナマ地峽によりて

亞細亞洲
清國



北 京 市 街

相 接 續 す。

第十四 世界 二

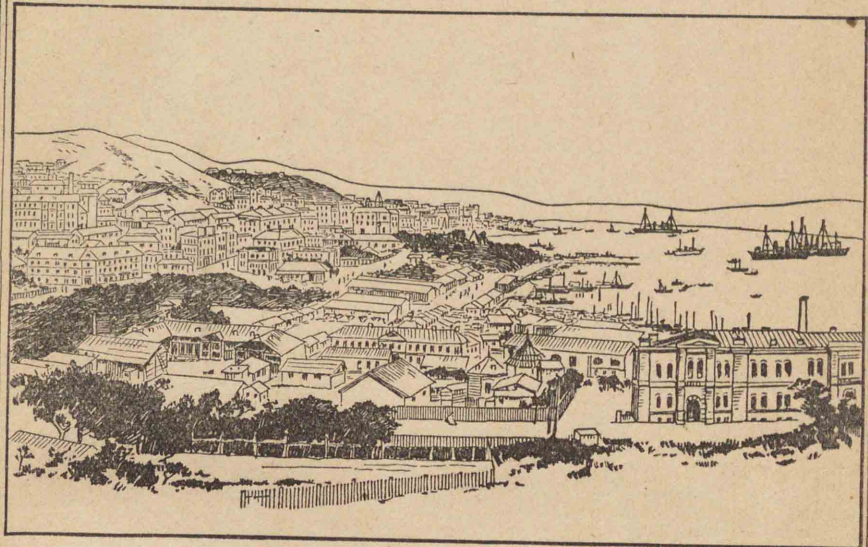
清國は亞細亞大陸の東部より中部に互れる大國にして、支那本部、滿洲等の數部より成り、東は海に面す。中部以西は山地にして、河は概ね源を此の山地に發し、東に流れて海に入る。河流の殊に大いなるは揚子

江及び黃河にして、其の下流地方は廣大なる平野をなす。東部地方は農業盛に行はれ、米、茶、生絲、綿、大豆等を産すること多し。我が國へは綿、豆粕等を輸出して、我が國よりは綿絲、石炭、綿織物、水産物等を輸入す。支那本部の東北隅に首府北京あり。其の東南なる天津は須要の貿易港なり。揚子江の河口に近き上海は此の國第一の貿易港にして、中流に臨める漢口は交通上の要地に當り、外國貿易盛に行はる。南部の沿岸なる香港は英吉利に屬して、亦東洋貿易の一中心たり。

シベリヤ

シベリヤは亞細亞の北部に位し、露西亞の領土たり。氣候甚だ寒く、住民少くして、未開の土地頗る多し。東方沿

印度



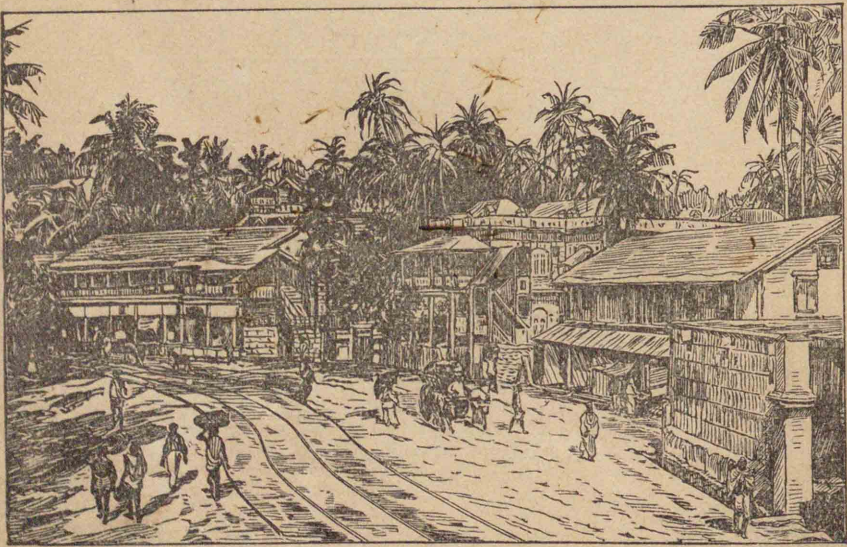
浦潮斯德港

海の地は水産業甚だ盛に、我が國人の之に従事するもの少からず。日本海に臨める浦潮斯德は軍港にして商港を兼ね。シベリヤ鐵道は此の地に起りて東清鐵道と連り、シベリヤの南部を経て歐羅巴に通ず。印度は亞細亞の南部にありて半島をなし、北境に世界最高のヒマラヤ山脈あり。

印度支那半島

り。全部殆ど英吉利に屬す。産物には米・麥・綿・茶等多く、我が紡績業に用ふる綿は主として此の地方より來り、ボンベールは其の輸出港として知らる。

印度半島の東に印度支那半島あり。中部の暹羅は獨立國なれども、其の他は英吉利佛蘭西の二國に屬す。域内多く米を産し、我が國

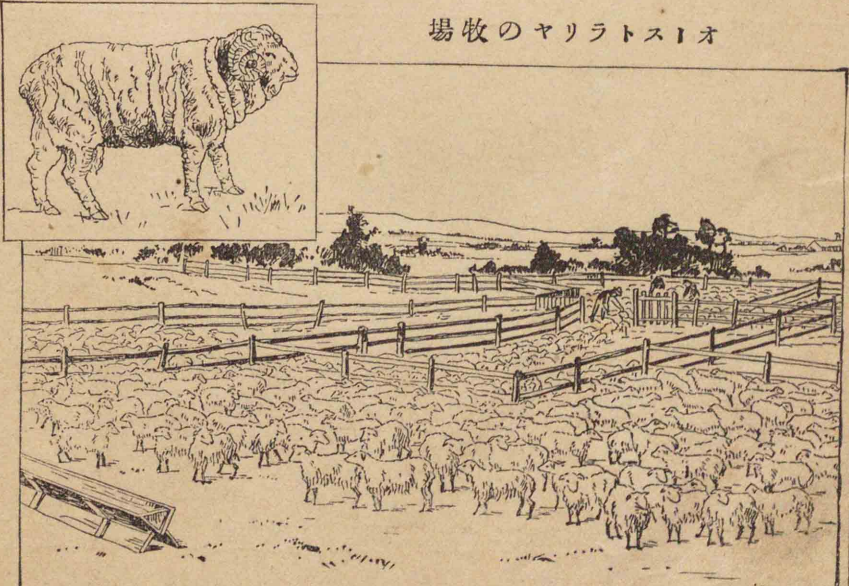


ボニン市街

マライ群島

にも之を輸入す。俗に南京なんきん米と稱するもの概ね是なり。半島の南端に近きシンガポールは英吉利に屬し、交通上の要地たり。印度支那半島の南より東に互りてマライ群島あり、概ね和蘭おらんに屬す。ジャバ島最も開けて砂糖の製造盛に行はれ、我が國に輸出せらるるもの少からず。米領の

オーストラリアの牧場



大洋洲

オーストラリア

フィリピン群島はマニラ麻を産すること多し。オーストラリアはマライ群島の東南に位し、英吉利の領土たり。牧畜・鑛業甚だ盛にして、羊毛と金との産出に富めり。

ハワイ諸島

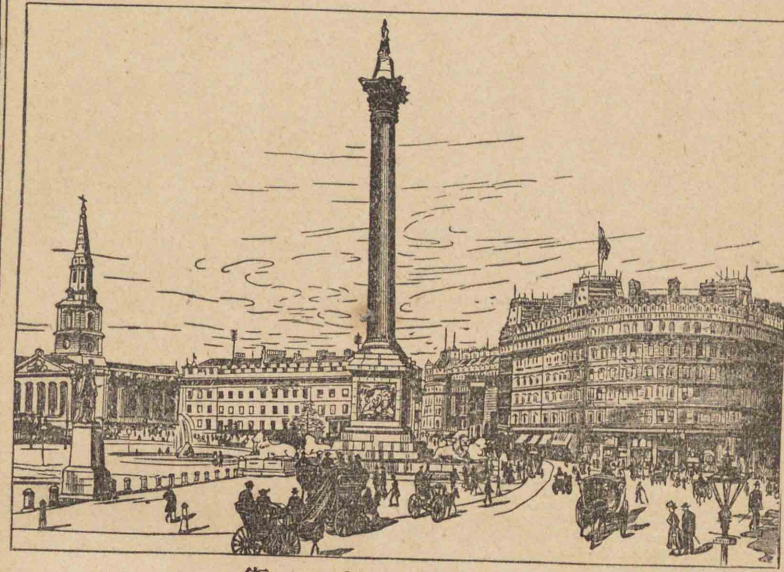
ハワイ諸島は太平洋の中央にありて亞米利加合衆國に屬し、氣候溫暖、地味肥沃なり。我が國人の在留するもの七萬を超え、重に甘蔗の栽培に従事す。

第十五 世界 三

歐羅巴洲
英吉利

英吉利は歐羅巴大陸の西岸に近き島國にして、我が同盟國なり。面積は我が國より小なれども、各大洲に互れ

佛蘭西



倫敦市街

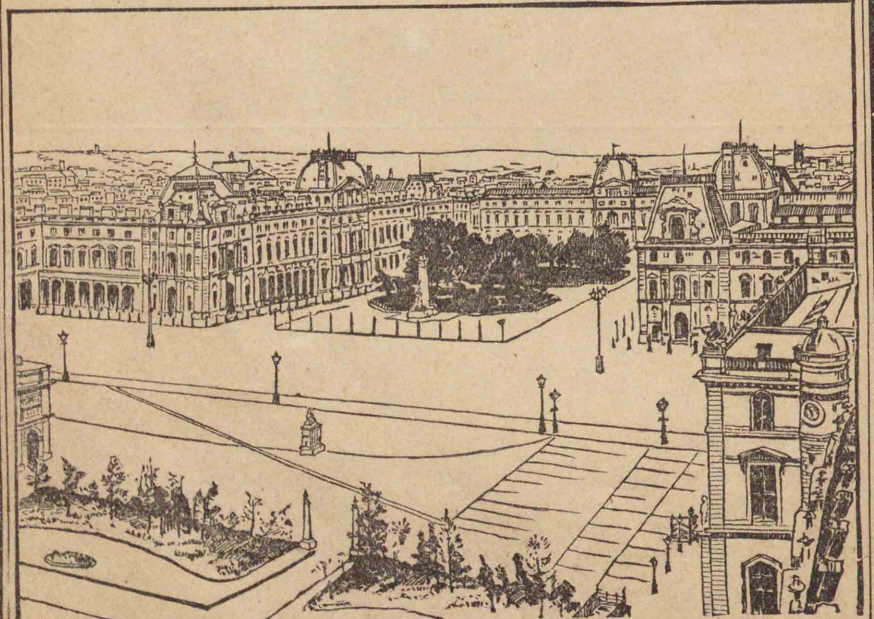
る領土を合算すれば實に世界無比の大國にして、商工業甚だ盛に、海軍の盛大なること宇内に冠たり。我が國へは鐵材及び鐵製品、綿織物等を多く輸出す。首府倫敦は世界第一の大都會にして且商業の一大中心たり。

佛蘭西は海峽を隔てて英吉利に對し、夙に美術工藝を以て知られ、又絹織物、葡

獨逸

葡萄酒の製造甚だ盛なり。首府巴里は歐羅巴第二の大都會にして、市街最も華麗なり。

獨逸は佛蘭西の東北に連り、學術盛にして、陸軍強大なり。又近來商工業著しく發達し、外國貿易の盛なること英國に次ぐ。首府伯林には有名な大學あり。其の西北に



巴里市街

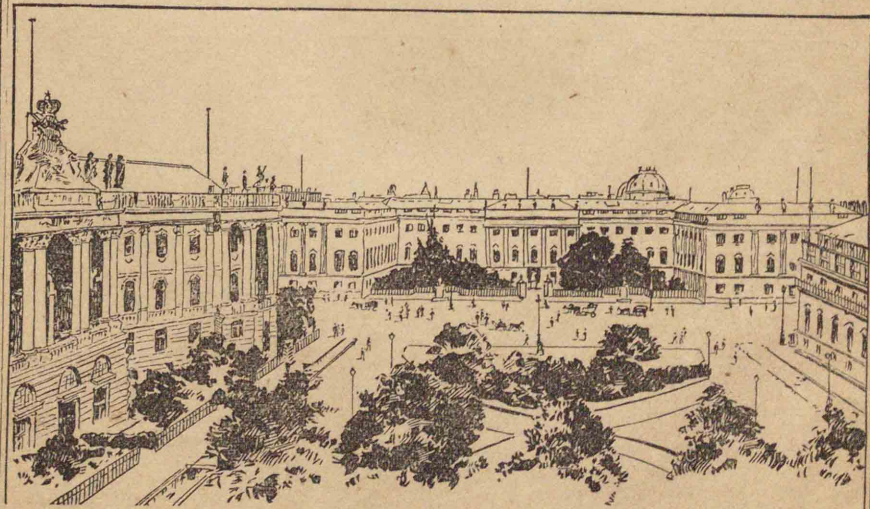
露西亞

當れるハンブルグは盛なる貿易港なり。

露西亞は歐羅巴の東部に位する大國にして、大平原をなし、麥・麻等の産出甚だ多く、牧畜亦盛に行はる。首府ペテルブルグは西北部にありてバルチック海に臨む。

奧地利 洪牙利

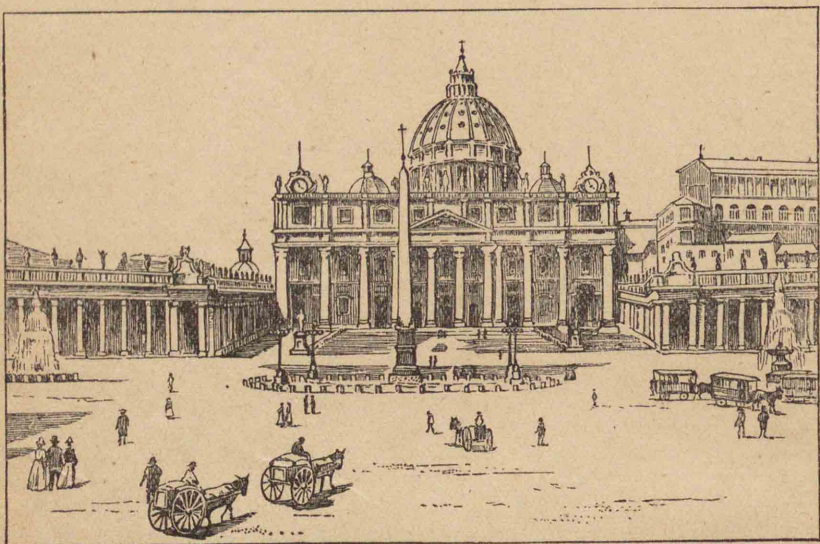
奧地利、洪牙利は獨逸の東南に連り、農業、牧畜盛に行はる。ダニューブ河國內を貫流し、首



伯林大學

伊太利

其の他の諸國



羅馬市街

府ウィーンは其の河畔にあり。

伊太利は歐羅巴の南部に位し、半島をなして地中海に突出す。産物には葡萄酒、生絲等あり。首府ローマは歴史上の遺蹟に富むを以て名高し。

其の他の歐羅巴諸國中に、瑞西、白耳義、和蘭あり、國小なれども、商工業盛に行

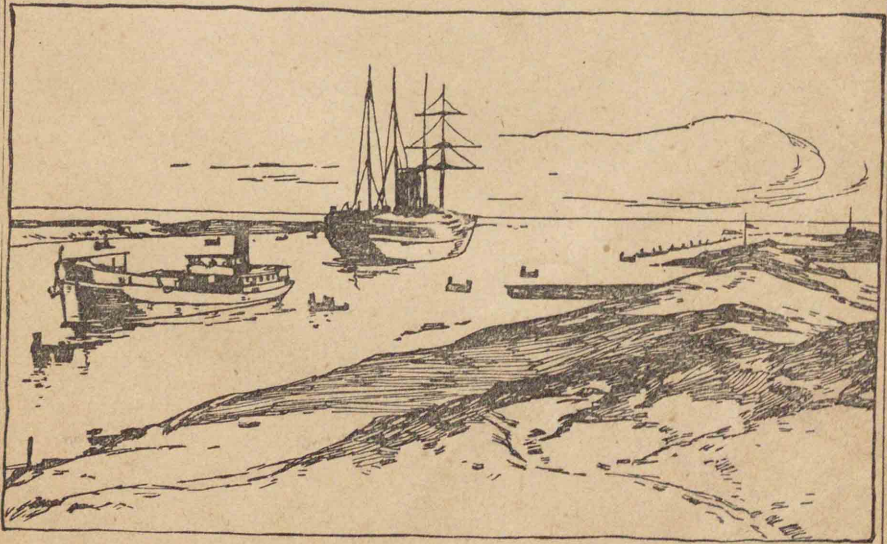
亞弗利加洲
エジプト

はる。
エジプトは亞弗利加の東
北隅にあり、ナイル河之を
貫流す。スエズ地峽を貫け
るスエズ運河は世界交通
の要路に當れり。又本洲の
南部には金・金剛石を多く
産する所あり。

第十六 世界 四

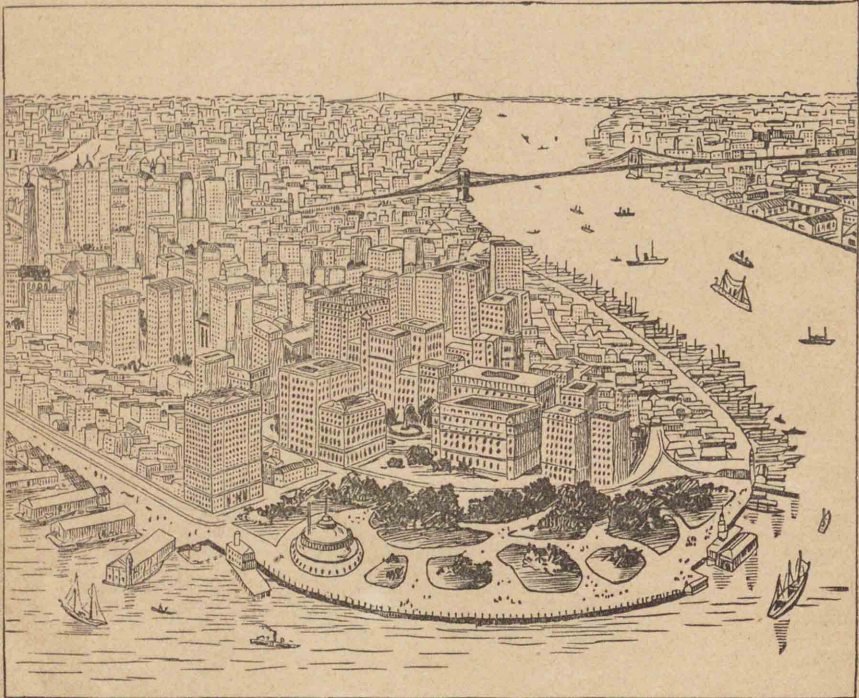
北亞米利加洲

亞米利加合衆國は北亞米



スエズ運河

亞米利加
合衆國



紐 育 市 街

利加の中部を占む
る大國にして、國內
に一大平野あり、世
界第一の長流たる
ミシシッピ河其の中
を流れ、小麥・玉蜀黍
綿等を産すること
甚だ多し。此の國又
鑛産物に富み、就中
銅・鐵・石炭及び石油
は其の産額世界第

一に位し、金・銀の産出も亦頗る多く、商工業甚だ盛大なり。我が國よりは多く生絲・茶等を輸入し、我が國へは多く綿・鐵材及び鐵製品等を輸出す。首府をワシントンと云ふ。其の東北に當れる紐育は世界第二の大都會にして、本洲第一の貿易港たり。西海岸のサンフランシスコ（桑港）は太平洋岸の重要なる港にして、其の附近には我が國人の在留するもの甚だ多し。

加奈陀は亞米利加合衆國の北に横たはり、英國に屬す。太平洋に臨めるバンクーバーは海陸交通の要點に當り、附近に本邦人多く在留す。

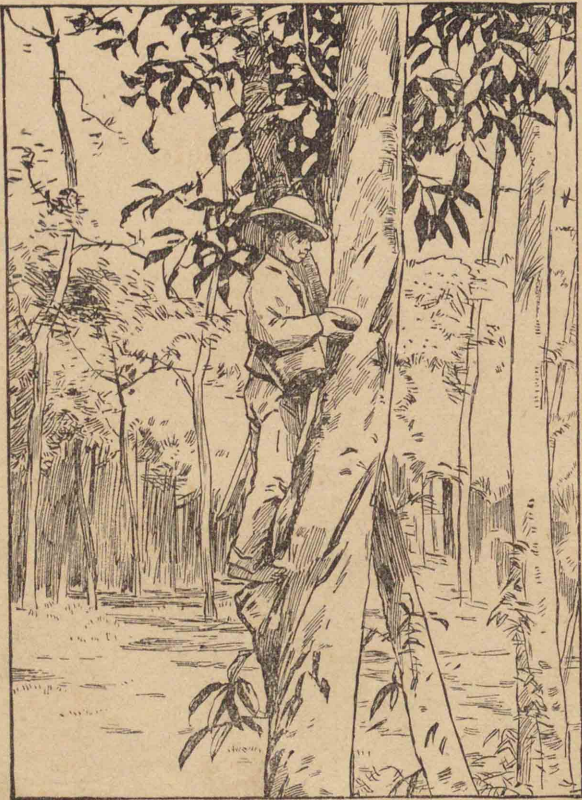
墨西哥は亞米利加合衆國の西南に接し、全國一大高原

加奈陀

墨西哥

をなせり。鑛業盛に行はれ、銀の産出甚だ多し。

南亞米利加
洲
伯刺西爾



ゴムの採收

伯刺西爾は南亞米利加の東部を占め、北部にはアマゾン河流れ、流域に大森林あり。此の國には珈琲・ゴムを産する

こと甚だ多し。

亞爾然丁

亞爾然丁は南亞米利加の南部にあり、農業・牧畜盛に行

智利

はれて、小麥・羊毛等を多く輸出す。
智利は亞爾然丁と相背きて太平洋に面し、我が南米航
路の終點に當れり。此の國は硝石せうせきの産を以て著る。

位置地勢

我が國は全部殆ど北半球の温帶中にありて、亞細亞洲
の東部に位す。國內山岳多く、河川概ね急流にして、大い
なる平野に乏し。されど氣候一般に温和にして地味よ
く肥え、海岸線の屈曲多くして良港に富み、天然の風光
亦遠く他國に秀で、地理上の利益を享たくすること甚だ大
なり。

第十七 帝國地理概説

産業

交通

農業は我が國第一の産業にして、米・麥・大豆・菜種・甘藷・茶
等の産出多し。養蠶業亦盛に行はれて、生絲の産額著し。
近年諸種の工業大いに發達して、綿絲・綿織物・絹織物等
の製造殊に盛なり。鑛産物は其の種類多く、就中石炭と
銅とを多量に産す。近海には寒・暖の二海流ありて水産
物に富み、鰯・鯉・鯨・昆布等を産すること多し。貿易は重に
横濱・神戸の二港によりて行はれ、主要輸出品は生絲・綿
絲・絹織物・銅・茶・石炭・綿織物・マツチ等、主要輸入品は綿・鐵材
及び鐵製品・豆粕・綿織物・砂糖・石油・米等にして、重なる取
引先は米・清・英の三國とす。
鐵道は近來大いに延長して、國內主要の都會を連れ、殊

に關東・近畿の二地方、九州の北部等は線路縱横に交りて、列車の往來頻繁なり。海運も亦頗る發達して、沿海到る所船舶の出入を見る。外國航路は横濱・神戸等を起點として廣く諸洲に通ず。

政治

我が國は萬世一系の天皇を戴き奉る立憲帝國にして、帝國議會は貴族院と衆議院とより成り、中央には内閣及び外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農商務・遞信の九省あり、地方には種種の行政廳あり。裁判所には大審院・控訴院・地方裁判所・區裁判所あり。普通教育は廣く全國に及びて、各地に小學校・中學校・高等女學校等の設けらるるあり。又帝國大學及び各種の専門學校ありて、高等

の學術・技藝を授く。此の外、各種の實業學校、師範學校、陸海軍の學校等ありて、教育の機關よく備れり。軍備も亦甚だ盛にして、十九箇師團の常備軍と五十萬噸の艦艇とあり。

かくて國威日に揚り、國力月に進みて、今や世界強國の列に加るに至れり。國民たるもの奮勵努力以て益邦家の隆昌を期せざるべからず。

尋常小學地理 卷二 兒童用終

明治四十三年十一月十六日印刷
明治四十三年十一月廿四日發行
明治四十三年十一月廿六日印刷
明治四十三年十二月十五日翻刻發行

著作權所有

著作兼
發行者

文
部
省

尋常小學地理卷二

定價金六錢五厘

ふ

明治四十四年十一月十三日
文部省檢査濟

翻刻發行
兼印刷者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社

代表者

原 亮 一 郎

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社工場

東京市日本橋區新右衛門町十六番地

株式會社
國定教科書共同販賣所

發
賣
所

和世了

Handwritten text on the spine of the book, possibly indicating the title or author.

広島大学図書
2000301545
